

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠

No. 30

やっても やっても仕事が終わらない

2015(平成27)年12月25日に、一人の女

性社員が自殺した。過労自殺だった。死んだのは広告業最大手の電通の新入社員だった。

電通では、1991(平成3)年にも入社2年目の男性社員が過労自殺している。この事件は、最高裁判所でも裁かれ、電通の職場環境の責任が問われた。にもかかわらず、同じ電通で若者が命を絶つことになった。

今回の事件では、東京労働局の労働基準監督官が電通の本社だけでなく、大阪市、京都市、名古屋市の同社の支社にも立ち入り検査をしたと報道された。

生命と引き替えにするほど大切な仕事ってな
んだらう？

自殺前には、^{ひとつき}1月の^{ざんぎょう}残業^{じかん}時間が105時間に

毎 日 新 聞
2016年(平成28年)10月15日(土)

高橋さんの労働時間

2015年10月9日～11月7日

※代理人有識士のデータを基に作成

労働時間 (始業～終業)	1週間の時間外 労働時間数の 合計	SNSでの高橋さんの 主なつぶやき
9日(金) 9:24～20:20	1時間56分	休日返上で作った資料をボロくそに言われた もう体も心もズタズタだ
10日(土)		
11日(日)	21時間59分	眠りたい以外の感情を失った
12日(月) 11:54～23:16		
13日(火) 8:48～24:39		
14日(水) 8:24～21:11		
15日(木) 9:27～23:00		
16日(金) 9:30～21:56		
17日(土)		
18日(日)		
19日(月) 9:22～23:02		
20日(火) 8:50～27:38		
21日(水) 10:15～24:20		
22日(木) 9:34～20:55		
23日(金) 8:57～18:26		
24日(土)	47時間26分	
25日(日) 19:27～30:05		
26日(月) 6:05～38:44		
27日(火) 15:01～24:42		
28日(水) 9:28～23:16		
29日(木) 10:36～21:18		
30日(金) 9:28～23:26		
31日(土)	37時間18分	会社行きたくない 土日でも出勤しなければならぬことがまた決定し、本気で死んでしまいたい
1日(日) 17:47～22:42		
2日(月) 9:28～23:42		
3日(火) 13:33～25:21		
4日(水) 9:13～26:07		
5日(木) 9:30～22:23		
6日(金) 9:22～23:00		
7日(土) 18:53～25:49		

時間外労働合計 130時間56分

12月25日 自殺

2016年(平成28年)10月15日(土) 毎日新聞

電通3支社も調査

新人自殺 長時間労働横行疑い

女性社員は過労自殺を巡り、東京労働局が広告代理店最大手・電通(本社・東京都)に労働基準法に基づく抜き打ちの立ち入り調査(臨検)を行った問題で、関西(大阪市)、京都(京都市)、中部(名古屋市の3支社も同様)に調査していたことが分かった。長時間労働が全社的に横行している可能性があるとして、社員の勤務記録や会社の対応策などを調べているとみられる。

(3面にクローズアップ)

電通では1991年にも入社7年目の男性社員(当時24歳)が自殺し、遺族が

起こした裁判で最高裁が会社側の責任を認定した。労働局は過労自殺が繰り返された点を重視したとみられる。労基法上、労働基準監督官は臨検して企業側に帳簿の提出を求め、使用者を尋問できると規定するが、支社までを対象とするのは異例という。

過労自殺が認定されたのは、新人社員だった高橋まつりさん(当時24歳)。昨年4月に入社し、本採用となった10月以降、業務が増加し、同12月25日に自殺した。三田労働基準監督署は今年9月、うつ病を発症す

る1カ月前の残業時間が月平均100.5時間に達していたと認定した。

労働局は今後、行政指導に当たる是正勧告のほか、悪質な違法行為が見つかった場合、書類を検察庁に送って刑事事件として立件することも検討する。

高橋さんの母幸美さん(53)は弁護士を通じて「国は大切な労働者のいのちを守るために、しっかりと指導を指導してもらいたい」とのコメントを出した。

【早川健△】

達していたと認定されている。

そして彼女は、うつ病に
なるほどに追^お詰^づめられて
いた。

これが日本の産業界の^{じつ}実態^{たい}なのか。例外的な^{れいがいてき}ことなのか。

新入社員自殺 電通に立ち入り

新入女性社員の過労自殺を機に、東京労働局などが広告界のガリバー企業、電通の勤務実態の解明に乗り出した。14日までに行われた立ち入り調査は本社にとどまらず、関西など3支社も対象とする広範囲なもので、過労死や過労自殺を引き起こす長時間労働の是正に厚生労働省が本腰を入れ始めたといえそうだ。立ち入り調査の方向性は、政府が進める「働き方改革」の論議にも影響を与える可能性がある。(一面参照)【早川健人、阿部亮介】

14日午後1時。腕章を付通し、労働実態の一端を明けた男女8人が東京都港区の電通本社ビルに入っていた。昨年4月に発覚し、長時間労働の問題を専門に扱う東京労働局の「過重労働撲滅特別対策班」(通称・かどく)のメンバーだった。「自殺した新人1人だけが長時間労働をしていたはずがなく、支社も含めた企業体質の問題だ」。厚生労働省幹部は今回、各支社も含めた全国的な立ち入り調査を行った理由を語る。電通のホームページによると、連日午前0時42分まで働いた。わずか17分間を除いて連続53時間、本社で拘束されたことになる。高橋さん

過酷労働風土にメス

クロアツプ 2016

連続53時間 拘束

んは27日、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)上でつぶやいている。「弱音の域ではなくて、かなり体調がやばすぎて、倒れそう……」

代理人弁護士によると、電通では社員同士の酒宴の準備も新入社員たちが担当させられ、クイズ▽映画▽ボスター▽音響▽道案内▽映像編集——など、さまざまな準備を要求される。3次会終了後に「反省会」と称し、先輩たちが新入社員たちに同会の仕方や余興の身まで批判するという。

こうした「体育会的な乗りの企業風土」(厚生労働省関係者)が心身にダメージを与え、11月にうつ病を発症したとみられる。自殺した12月25日の夜には年納めの

飲み会が予定されていた。代理人弁護士は「高橋さんにとって結構な仕事だったと思う」。

11月6日。高橋さんは、1991年に電通入社2年目のラジオ担当の男性社員が自殺した事件について記載した民間団体のホームページへのリンクを貼り付けて「これと全く同じ状態で」とSNSにつぶやいた。

91年の過労自殺のケースは遺族による訴訟に発展し、最高裁は2000年、電通の責任を認定。過労自殺を巡る初の最高裁判決であり、電通は社会的な非難を浴びた。それでも今回、部署異動を願い出た高橋さんに対し、上司は「異動ではなく、仕事を減らす」と応じただけだったとされる。労働問題に詳しい元裁判官の弁護士は「25年前の教訓は全く生かされていないのではないか」と首をひねる。

昨年度、労災認定された過労死は96件、過労自殺(未遂含む)は93件と高止まり傾向にある。電通以外でもワタミ子会社の20代の女性従業員が自殺(労災認定は12年)、富士通の課長の男性が自宅で死亡(同12年)、日

本マクドナルドの40代の女性店長が勤務中に死亡(同09年)——など有名企業での悲劇は後を絶たない。

「自分の娘に同じことが起きたらと思うと涙が出る」。別の厚生労働省幹部はそう話し、「(電通の問題に対する)世間の注目は高い。長時間労働が前提となっている日本経済や企業を変えなければ」と強調する。